

令和6年度 粟ノ保小学校だより

令和7年3月4日 NO.19



ひまわり

羽咋市立粟ノ保小学校
校長 田中 利弘

スローガン【すべては 子どもたちの 輝く未来のために】

◇羽咋市長と語る会◇ 2/27 (木)

6年生は、1学期の6月「まちづくり課」を訪問して、「疑問に思っていること」を文章にまとめ課長さんへ提出。その疑問について、来校し直接子ども達に説明をしてくださいました。この度、自分たちの学びの成果として、各グループ毎に「羽咋のために自分たちに何ができるか」をプレゼン及びパンフレットにまとめました。

2/20(木)、「まちづくり課」の3名の職員を招待し、自分たちが考えまとめたものを「観光」「子ども」「定住」の3つのテーマでプレゼンしました。どのチームも「パンフレット」でコンパクトのまとめ大きな声で発表できました。市職員も「小学生でこれだけまとめるのはすごいです」とお褒めの言葉もたくさん頂戴しました。中には動画撮影し、AIで音声を取り入れたものもあり、「レベルが高いですね」と感想を述べられていました。その後、市長へも提案したらどうかと声がかかりました。



2/27(木)市役所を訪問し、市長、教育長、関係部署課長に向けて同様のプレゼンを実施しました。また、6年生成成のパンフレットを「まちづくり課、商工観光課、子ども課」の関係部署へ渡し、来庁者・市民向けに窓口においてほしいとお願いをしました。最後に「市長と語る会」があり、市長さんへ積極的に挙手して質問する姿が見られ、感心した次第です。ていねいに回答いただきどうもありがとうございました。



市長、教育長を前にして緊張する場でのプレゼン。大きな声でわかりやすく伝えようとする姿が見られました。これからの社会で求められる資質です。やはり、自ら課題を持って、情報収集し、自分の言葉で考えたことなので自信を持って発表できたのだと思います。

もうすぐ卒業していく6年生ですが、学びの集大成の感じがしました。課題意識を持ち、これからも学んでいってほしいと願います。

裏面あります

◇全校集会：校長の話◇ 3/3 (月)

3月。学年の締めくくりです。今月の話を紹介します。江戸幕府を開いた徳川家康公を祀る豪華絢爛・荘厳無比の世界遺産「日光東照宮」の三猿の話をしました。目をふさぎ、耳をふさぎ、口をふさぐ、「見ざる・聞かざる・言わざる」の三猿です。これには、「汚れたものや醜いものは見ないようにしよう、悪いことは聞かないようにしよう、人の悪口や陰口は言わないようにしよう」という戒めが込められているようで、人の在り方として、なるほどなと思うところがあります。



その日光東照宮とは全く反対の三猿がいる神社を紹介しました。笑点でお馴染みの林家たい平師匠が、あいさつでよく語っているあの神社です。秩父夜祭りで有名な「秩父神社」です。秩父神社の三猿は「よく見て・よく聞いて・よく話す」お元気三猿です。



この三猿を見ると、かっと大きく目を見開いた猿・口を大きく開いた猿・大きな耳を立てている猿が愛嬌よく寄り添っています。いつまでも「よく見て・よく聞いて・よく話そう」という願いが込められています。皆さんに伝えたいことは、授業中には、「読み・書き・計算」に加えて「たくさんのを見て、友達の話や先生の話をしっかり聞いて、そして、自分の考えをしっかりと発表してほしいということと、「友達の悪いところを見るのではなく、良いところや頑張っているところを見ること、友達の噂話や悪口をきくのではなく、だれかが言っていたら注意すること、そして、友達の悪口や嫌がることをいうのではなく、良さや頑張っていることを伝えてほしいということ」を話しました。

最後に「有終の美」で話を締めました。有終の美とは『最後までやり通し成果をあげること』を言います。みなさんにとって有終の美で終わるということは、今の学年でのやり残しはないということです。4月に進学・進級が待っています。心も身体も成長した姿を期待しています。

◇卒業生を祝う会◇ 2/25 (火)

会の冒頭、見守り活動をされている3名に感謝を伝えました。暑い夏、寒い冬を問わず年間通して粟ノ保っ子の安全に尽力していただき感謝です。本当にありがとうございます。

さて、6年生の卒業を全校で祝いました。体育館の飾り付けや学年の出し物も創意工夫し上手に表現していて感心しました。感謝溢れる会になりました。

